



「uSonar(ユーソナー)」 for Salesforce 導入手順のご案内

0. はじめに
1. ネットワーク設定
2. 連携用ユーザの発行
3. グローバルIPアドレスの用意
4. 連携オブジェクトのURLの用意
5. マッチキーの準備
6. 社名の法人格について
7. メール送信設定
8. 一意制約の適用解除
9. システム管理者ユーザの一時貸与のお願い
10. 変更履歴管理
11. ランドスケイプサービスを利用し新規登録する場合の権限設定

0. はじめに

- 本資料では、uSonar(ユーソナー)と貴社Salesforceを連携するためのAppExchangeパッケージをインストールするにあたり、Salesforce側でご対応いただきたい内容についてまとめています。

本資料にて、ご対応頂いた内容を記載するためのフォーマットとして、「AppExchange設定依頼書」という資料を別途、ご提示します。
本資料を参考頂き、事前準備を貴社にてご対応の上、AppExchange設定依頼書に結果を記載して、当社までご返送ください。

1. ネットワーク設定

- 貴社側のSalesforceネットワーク設定として、
当社のLCLサーバーから貴社のSalesforceへ接続が出来るように、
下記のIPアドレスからの接続が許可されている状態に設定をお願い致します。

- 許可対象IPアドレス一覧

122.212.39.50

52.68.206.126

13.115.190.118

52.69.210.7

52.197.233.27

54.65.207.43

13.115.226.138

13.114.66.33

設定する箇所としては、以下の2つのどちらかになります。

- ①設定 - セキュリティのコントロール - ネットワークアクセス -
信頼済み IP 範囲 への追加
- ②AppExchange連携用ユーザおよび、サイドソナーを利用するユーザーの
プロファイルの「ログイン IP アドレスの制限」への追加

2. 連携用ユーザの発行 (1/3)

- uSonar連携用に利用するSalesforceアカウントを1つご用意いただく必要があります。
※SSOを利用している場合、このユーザはSSOに属さないユーザとして作成してください。

また、発行の際にメールアドレスが必要な場合には、下記のメールアドレスにてご登録をお願い致します。

lcluser@landscape.co.jp

- ※上記のメールアドレスはユーザー名にすでに使用されております。
Salesforceのユーザ登録時に、ユーザー名が上記のメールアドレスで自動入力され、登録が完了できない場合は、ユーザー名を別の名前に変更してください。

(例) ユーザ情報設定

メール(アドレス) : lcluser@landscape.co.jp

ユーザー名 : usonar-support@【貴社で利用しているドメイン名】

AppExchangeインストール後、エラーを当社にて検知した場合、貴社にご連絡の上、Salesforceへログインし調査を行う場合がございます。
連携用ユーザのパスワードは、有効期限を設定しないようお願いいたします。

- ※発行時のユーザライセンス、プロフィール権限については次ページをご確認お願い致します。

2. 連携用ユーザの発行 (2/3)

■ ユーザライセンス

下記の条件を満たす事ができるライセンスであれば、指定はありません。

■ プロファイル

以下の権限のあるプロファイルを使用、もしくはご用意ください。

[標準オブジェクト権限]

連携を行うオブジェクトへの参照・登録・更新が可能な権限を付与してください。

(例)

取引先にのみLBC連携をする場合

→ 取引先への参照・登録・更新

取引先とリードにLBC連携をする場合

→ 取引先・リードへの参照・登録・更新

[パスワードポリシー]

・パスワードの有効期限

→ 無制限

■ アカウントの有効状態

連携用ユーザが無効化の場合、バッチ処理を行うことができず、連携が停止します。
連携用ユーザは無効にしないようお願いいたします。

2. 連携用ユーザの発行 (3/3)

- Salesforceにメールアラートなどのユーザに対する自動メール通知を設定している場合、連携用ユーザを通知の受信者には設定しないようお願いいたします。

※自動メール通知はCatterの受信通知、ワークフローや承認フローの通知等も含まれます

※参考URL

(メールアラートアクション)

https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.customize_wfalerts.htm&type=5

(Chatter メール設定への移動)

https://help.salesforce.com/articleView?id=collab_email_settings.htm&type=5

(Salesforce Classic でのダッシュボードの更新のスケジュール設定)

https://help.salesforce.com/articleView?id=dashboards_schedule_refresh.htm&type=5

3. グローバルIPアドレスの用意

■ サイドソナーを利用する貴社端末（PC）のグローバルIPアドレスをご共有ください

サイドソナーは、原則、貴社固定のグローバルIPアドレスからのみログイン可能となるよう当社にて制御を行います。

許可対象とする、貴社固定のグローバルIPアドレスをご提示ください。

※複数でも問題ございません。

※海外拠点のグローバルIPアドレスは、設定できません。

※テレワーク等で、IPアドレスの固定が不可能な場合は、別途ご相談ください。

※いただいたグローバルIPアドレスを、当社にて確認する際、実際に該当のグローバルIPアドレスからアクセスがされているか、ご確認させていただく場合がございます。

4. 連携オブジェクトのURLの用意

- 今回、uSonar連携を行うオブジェクトの画面URLをご提示ください。
「設定依頼書」に記入例がございますので、そちらを参考にURLを取得ください。

受領したいURLは、下記4点となります。

1. Salesforceにログインする際のURL
2. 取引先オブジェクトの、レコード参照時のURL
3. 取引先オブジェクトの、リストビュー参照時のURL
4. Classic画面利用時の、ホーム画面のURL

※上記は、取引先オブジェクトとのみ、連携する場合に必要なURLとなります。
連携するオブジェクトにより、上記以外のオブジェクトについてもURLのご提示をお願いする場合があります。

5. マッチキーの準備

■ Salesforceに登録されたデータにLBCマッチするためのマッチキーをご提示ください

連携先オブジェクトに格納している企業情報で、社名、住所、電話番号、ドメイン（URLまたはメールアドレス）を格納している項目の、ラベル名と物理名を教えてください。

(例)

社名は、取引先名 [物理名:Name] を利用している

住所は、住所(請求先) [物理名:BillingAddress] を利用している

電話番号は、電話 [物理名:Phone] を利用している

ドメインは、URL [物理名:Website] を利用している

等

※運用上、情報が登録されない項目をマッチキーに指定してしまうと、LBCマッチが正しく行えない場合がございます。

必ず、貴社運用上、値が登録される項目をご指定ください。

※マッチキーは全てが埋まっていなくてもLBCマッチは行われますが、情報が社名しかない場合は、LBCとマッチしませんので、予めご了承ください。

※マッチキーは場合分けできません。

特定のデータのみ、項目Aを参照し、それ以外は項目Bを見る、といったようなご指定はできませんので、予めご了承ください。

6. 社名の法人格について

- 当社にて企業の会社名情報を連携する際、法人格は原則、正式名称での返却となります。

(例)

ランドスケイプの場合 → 株式会社ランドスケイプ

(株)形式のような、法人格略称形式を希望される場合は、設定依頼書にその旨、ご記載ください。

※LBCマッチや、LBCメンテにおいて、マッチキーに指定された標準項目の会社名項目に、LBC社名情報の上書き更新は原則、行いません。AppExchangeインストールに伴って自動作成される、連携用のカスタム項目に社名情報が返却されます。

※サイドソナーやユー名刺をご利用頂き、ランドスケイプサービスから直接取引先を新規作成する場合には、マッチキーに指定された会社名項目に、初回のみ、LBC社名情報を登録致します。

7. メール送信設定

- 当社にて、AppExchangeのインストール作業を実施する際、Salesforceからの送信設定が必要になりますので、以下の手順で設定してください。

1. 設定画面の「メール管理」から「送信」をクリックする。
2. 「送信」画面が表示され、メールを送信するためのアクセス権(すべてのメールサービス)のアクセス権を「すべてのメール」に変更し、保存する。

送信

このページで設定を行い、組織のメール送信を改善します。一部の設定は、Salesforce を介して送信されるメールと、Salesforce に接続できる外部アカウントを介して送信されるメールに適用されます。

送信 保存

メールを送信するためのアクセス権 (すべてのメールサービス)

アクセス権 すべてのメール

不達管理 (Salesforce またはメールリレーからのメールのみ)

不達管理が有効化され、ユーザが無効なメールアドレスにメールを送信すると、そのメールは宛先不明で Salesforce に戻され、そのアドレスが検証されるまで、ユーザはそのアドレスに再送信を繰り返すことができます。

不達管理の有効化

メールアドレスの横の送信エラーアラートを表示 i

エラーが発生したメールを送信者に返す i

メールセキュリティ準拠 (Salesforce またはメールリレーからのメールのみ)

これらのオプションを有効化して、メールセキュリティ認証のメカニズムを使用する受信者に送信するメールの送信を改善します。

標準メールセキュリティのメカニズムへの準拠を有効化

送信者 ID 準拠を有効化 i

トランスポートレイヤセキュリティ (TLS) (Salesforce またはメールリレーからのメールのみ)

発信メールに TLS 設定を作成します。

TLS 設定 任意

TLS を次のドメインに限定する:

8. 一意制約の適用解除

■ Salesforce連携先オブジェクトの連携項目に一意制約が存在する場合、連携用ユーザには制約を適用頂かないようお願いいたします。

※ サイドソナーをご利用しない場合は
連携用ユーザのみ制約を適用しない、という形で問題ございません。

※ 連携項目に一意制約が存在する場合、
レコードの登録、更新処理が出来ないケースがございます。

※ 参考URL(重複ルール)

https://help.salesforce.com/articleView?id=duplicate_rules_map_of_reference.htm&type=5

※ 貴社にて一意制約を独自に設定していなくとも、
Salesforceには、標準で一意制約が設定されている場合がございます。
連携用ユーザに適用されていないか、ご確認をお願いいたします。

※ 参考URL(標準一致ルールについて)

https://help.salesforce.com/articleView?id=matching_rules_standard_rules.htm&type=5

9. システム管理者ユーザの一時貸与について

- uSonar連携のためのAppExchangeをインストール作業する際、Salesforceのシステム管理者権限が付与されたユーザが必要になります。

ランドスケープがAppExchangeインストール作業を代行するために、システム管理者ユーザを一時的に貸与いただけますでしょうか。

「設定依頼書」に、連携用ユーザ同様、ログインIDとパスワードを記入いただき、当社までご提示いただくよう、お願いいたします。

※連携用ユーザと別途でライセンスをご提示頂くことが難しい場合、連携用ユーザにシステム管理者権限を付与頂く形でも問題ありません。

※システム管理者ユーザは、インストール完了後に返却いたします。

10. 変更履歴管理

- 連携が行われた事を検知する為のフラグ項目などはございません。
Salesforce連携先オブジェクトの連携項目のうち、一部の重要な項目には変更履歴管理を実施する事を推奨しております。

【変更履歴管理 推奨項目】

LBC_LBCコード	: cdi__lbc_office_id__c
LBC_LBCマッチ区分	: cdi__lbc_match_div__c
LBC_LBC属性付与フラグ	: cdi__lbc_info_flag__c

※上記以外にも、ランドスケイプの実施するLCL自動連携以外に、
貴社にて更新・登録を行う項目は、変更履歴管理を実施する事を推奨致します。

※変更履歴管理を実施する事は、連携において必須ではありません。

※参考URL(変更履歴管理)

https://help.salesforce.com/articleView?id=tracking_field_history.htm&type=5

10. ランドスケイプサービスを利用し新規登録する場合の権限設定

- サイドソナーをSalesforceと連携すると、当社サービスを経由し、Salesforceにレコードを登録をすることが可能となります。
この際、サイドソナー・ユー名刺をご利用のユーザを所有者として登録します。

上記を実施する場合、サイドソナー・ユー名刺を利用するSalesforceアカウントが、連携先オブジェクトに対し、参照権限を有している必要があります。
こちらの権限が付与されていない場合、新規登録ができない場合がありますので、事前に権限付与をお願い致します。

- 対象となるオブジェクト（標準の場合）
取引先（Account）

※参考URL(レコードの所有者の変更)

https://help.salesforce.com/articleView?id=account_owner.htm&type=5

※サイドソナーもしくはユー名刺をご利用する場合のみご対応が必要になります。
該当サービスのご導入がないお客様は、本ページのご対応は不要です。